2019

わかりやすい

いたのけっさん

〈令和元年度決算　町民への決算説明書〉

【板野町あせび温泉やすらぎの郷　マスコットキャラクター　　「あせびちゃん」と「弁慶くん」】

～はじめに～

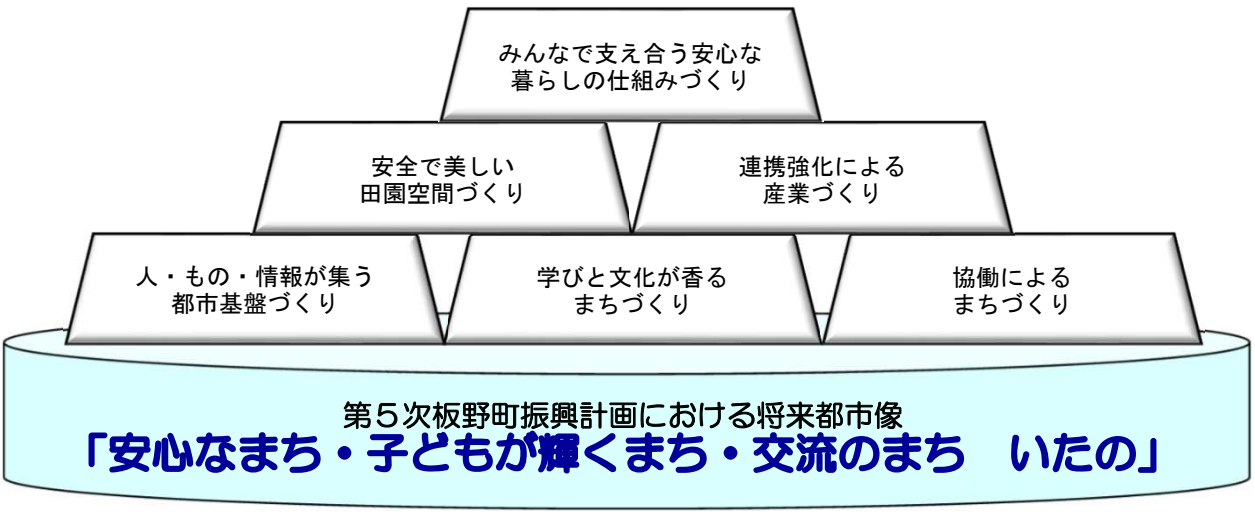
板野町では、町民の皆様と協働でまちづくりを行うため、町の情報を積極的に公開しており、その１つとして予算書、決算書の概要版を作成しています。

本書は、「第５次板野町振興計画」に掲げる６つの施策の柱に基づいて構成しています。この施策の柱ごとに、板野町が令和元年度にどのような事業を行い、どれだけのお金を使ったのかを、できるだけわかりやすく紹介しています。

この冊子をとおして、板野町の財政状況について皆様のご理解が深まるきっかけとなれば幸いです。

板野町では「安心なまち・子どもが輝くまち・交流のまち　いたの」を将来像として、まちづくりを進めています。この将来像の実現に向けて、６つの施策の柱を定めています。

まちづくりの基本目標



～ もくじ ～

決算状況 …… 1

令和元年度一般会計決算概要 …… 2

財政の健全化判断比率 …… 8

第１章　みんなで支え合う安心な暮らしの仕組みづくり

１．地域福祉の推進 …… 10
２．保健・予防の充実 …… 11
３．子育て支援の充実 …… 14
４．高齢者福祉の充実 …… 15
５．障がい者福祉の充実 …… 17

第２章　安全で美しい田園空間づくり

１．適切な土地利用の推進
２．防災・防犯体制の向上 …… 20
３．循環型まちづくりの推進 …… 22
４．上下水道事業の推進 …… 23

第３章　連携強化による産業づくり

１．農業の振興 …… 26
２．商工業の振興 …… 27
３．観光の振興 …… 28
４．基幹産業のブランド化と産官学の交流促進 …… 28

第４章　人・もの・情報が集う都市基盤づくり

１．市街地環境の整備 …… 30
２．道路・交通機能の充実 …… 30
３．公共空間の整備・促進 …… 32

第５章　学びと文化が香るまちづくり

１．人権の尊重と共生社会の形成 …… 34
２．児童・生徒の教育環境の整備充実 …… 35
３．生涯学習・生涯スポーツの促進 …… 36
４．歴史・文化の継承と創造 …… 37

第６章　協働によるまちづくり

１．地域コミュニティの活性化 …… 40
２．信頼される役場づくりと行財政改革の推進 …… 40

総合行政の成果 …… 43

まずは、各会計の決算状況について
報告してみよか～！

令和元年度の板野町各会計の決算が、板野町議会９月定例会において認定されましたので、決算の概要及び財政状況についてお知らせいたします。
（※ 端数は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。）

一般会計の歳入は、前年度に比べ１億８,７４０万円減の７１億９,４８１万円となり、このうち主な自主財源である町税は１６億２,２９６万円でした。
一方、歳出は、前年度に比べ１億１,００７万円増の６７億６０８万円となりました。
歳入決算額から歳出決算額を差し引いた「歳入歳出差引額」は４億８,８７３万円の黒字となり、これから翌年度に持ち越した事業の支払いに使う繰越財源２億５９４万円を差し引いても２億８,２７９万円の黒字となるため、健全な財政運営が行われているということができます。

特別会計及び公営企業会計においても、概ね黒字を堅持していますが、国民健康保険事業会計については５年連続での赤字決算となり、厳しい財政運営を強いられています。

（単位：万円）

区　　分	一般会計	住宅新築資金等貸付事業特別会計	奨学金貸与事業特別会計	国民健康保険事業特別会計
歳 入 総 額	719,481	655	279	172,964
歳 出 総 額	670,608	571	279	174,604
歳入歳出差引額	48,873	84	0	△ 1,640
翌年度への繰越財源	20,594	0	0	0
実質収支額	28,279	84	0	△ 1,640

区　　分	後期高齢者医療特別会計	介護保険事業特別会計	介護サービス事業特別会計	公共下水道事業特別会計
歳 入 総 額	16,846	132,498	1,282	34,332
歳 出 総 額	16,769	130,158	711	34,332
歳入歳出差引額	77	2,341	572	0
翌年度への繰越財源	0	0	0	0
実質収支額	77	2,341	572	0

◆企業会計

（単位：万円）

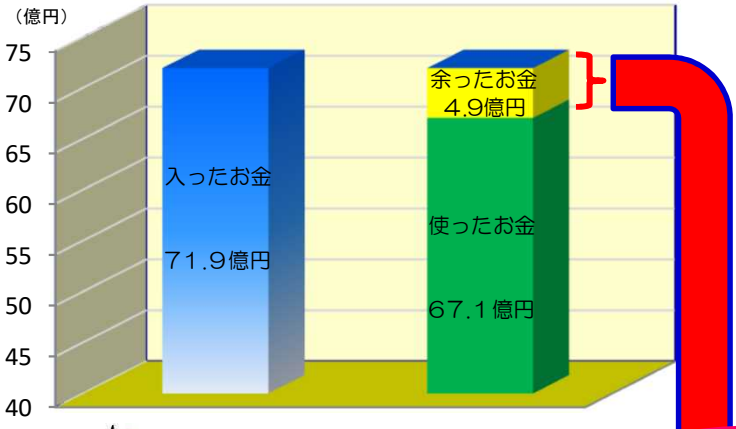
区　　分		収入	支出	差引
水 道 事 業	収益的収支	24,532	22,963	1,569
	資本的収支	15,639	15,639	0

※公共下水道事業は公営企業法非適用のため、企業会計ではなく特別会計として計上しています。

ほな次は、一般会計の決算概要について
報告してみるでよ～！

Q1-1　令和元年度の決算は黒字だったん？赤字だったん？

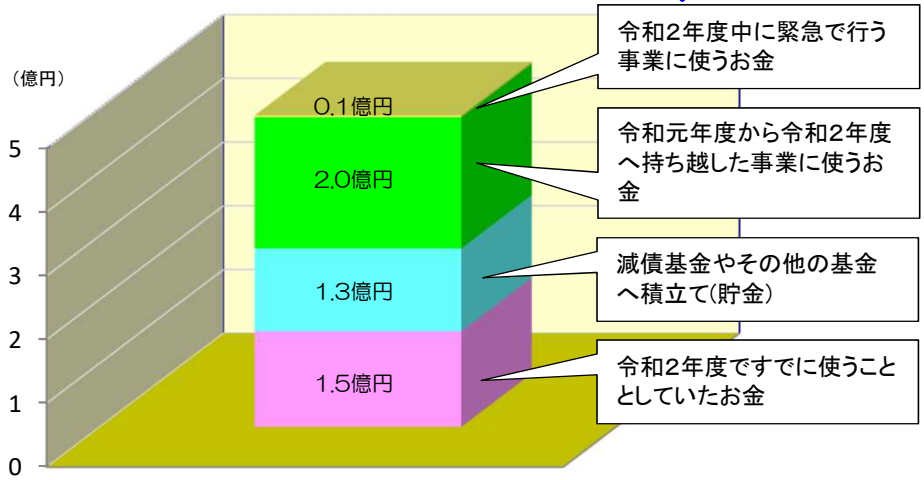
○令和元年度　一般会計決算収支の状況



町税や地方交付税など「入ったお金」71.9億円に対して、福祉や教育、道路整備など町の仕事に「使ったお金」は67.1億円やけん、差し引き4.9億円の『黒字』だったんでよ！
※　端数処理の関係で、合計が一致せん場合があるけんなぁ。気ぃつけといてよ～。

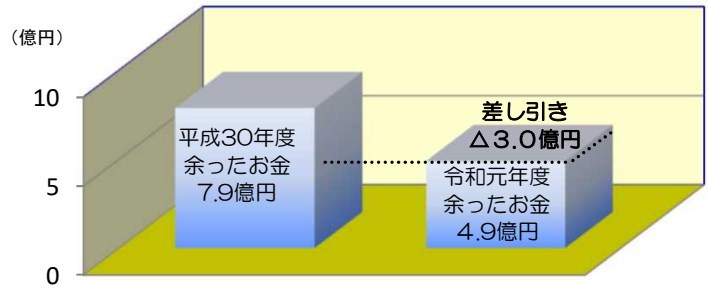
Q1-2　余ったお金はどうするん？去年と比べてどんなん？

○余ったお金の使い道



余ったお金は次の年度で行う事業の支払いに使ったり、災害時など緊急の支払いに使う貴重な財源になるんじゃ。
また、将来行う事業の財源とするためや、想定外の多額の支払いが発生したことによる財源不足となった場合に備えるために、基金への積み立てもしよるんでよ。まぁ、一般家庭でいうたら「貯金」みたいなもんじゃなぁ。

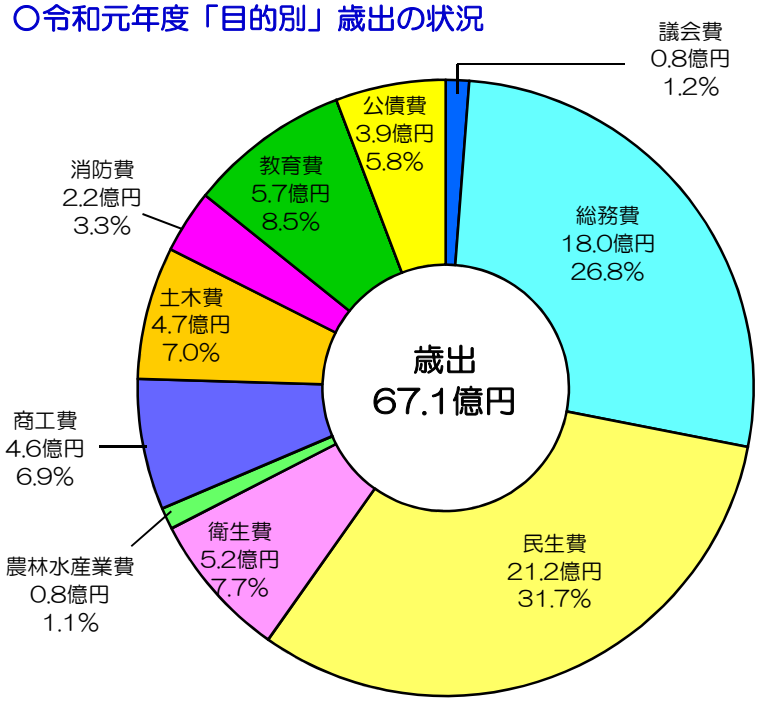
○余ったお金の対前年度比



余ったお金を去年と比べたら、3．0億円減ったんじゃ。
これは、町の財源不足を補填するための財政調整基金からの繰入金が減ったことが主な要因なんじゃ。

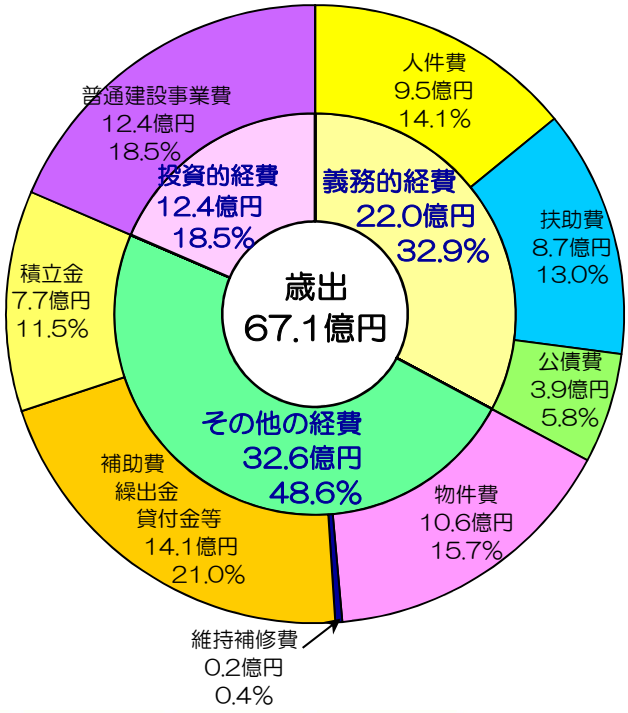
Q2　どんな目的で、どんなことに対してどんだけの額を使うたん？

○令和元年度「目的別」歳出の状況



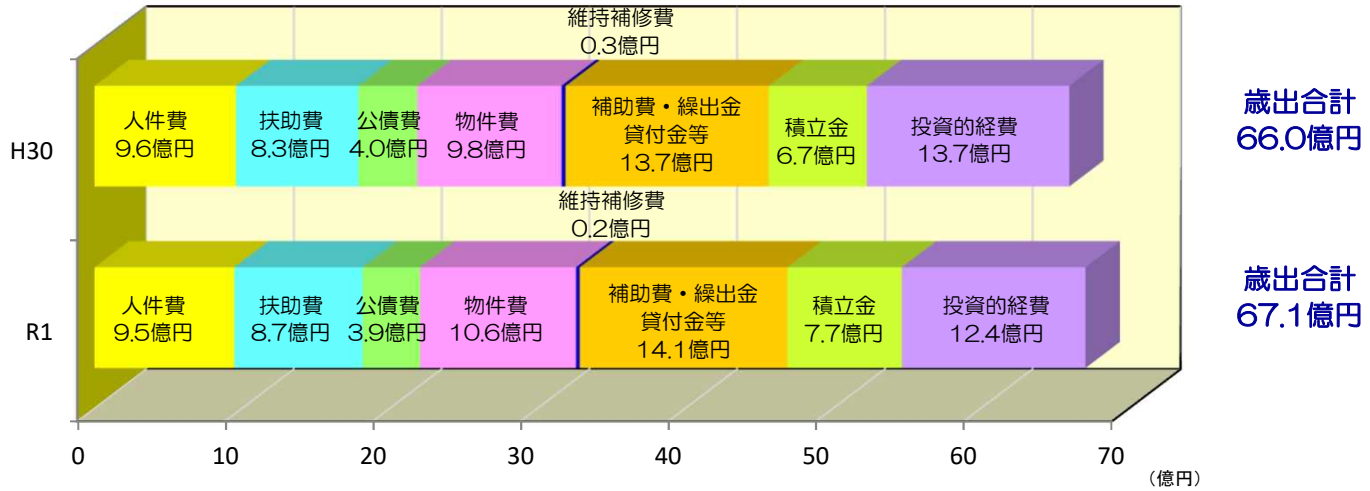
子どもやお年寄り、障害者に対する福祉関係などの支出である「民生費」が約２１億円と、全体の約3割を占めとんでよ。
　また、道の駅整備事業で「総務費」と「商工費」がそれぞれ約１.６億円、約２.6億円の増加となったんじゃ！

○令和元年度「性質別」歳出の状況



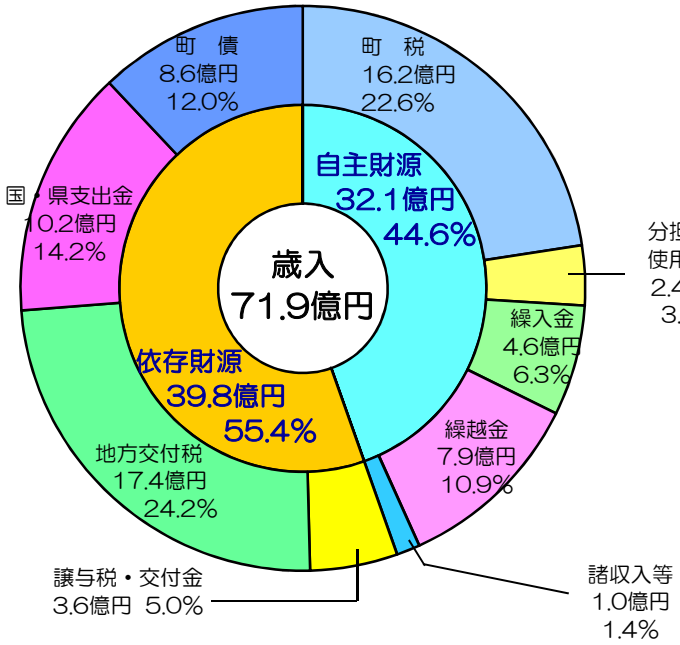
義務的経費は、扶助費が増額になったけど、ほぼ前年度並みだったんじゃ。
　その他の経費は、基金への積立金や物件費の増額で２.２億円増えたんじゃ。
　ほなけど、投資的経費は道の駅整備事業の進捗により、１.３億円も減ったんでよ。

○「性質別」歳出の対前年度比



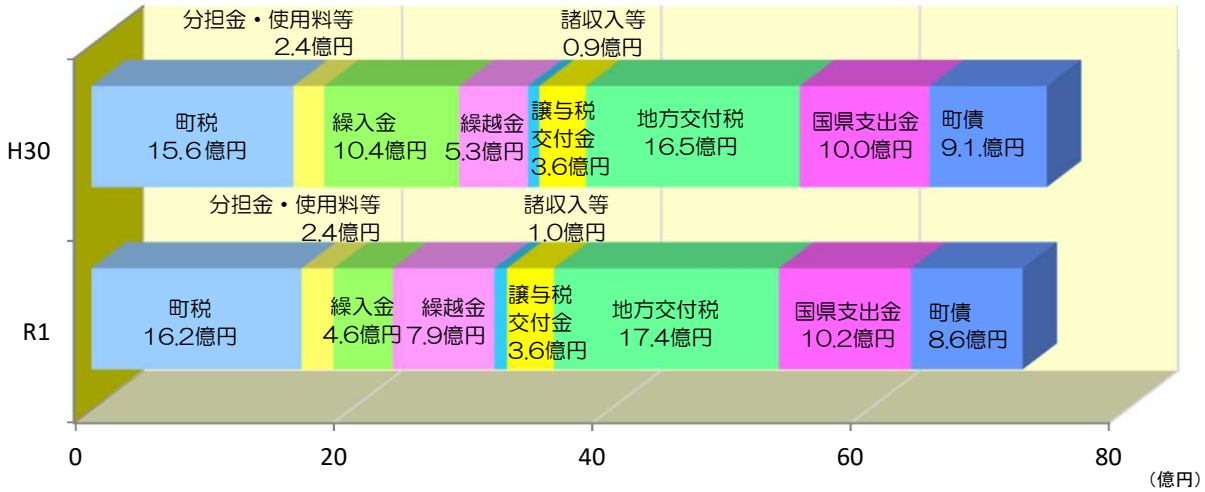
Q3　収入はどんなもんがあって、どのくらいの額なん？

○令和元年度　歳入の状況



町民の皆さんに納めていただいてる「町税」と、国から交付される「地方交付税」が収入の主なもんなんじゃ。
町税や施設使用料など、町が独自に調達できる『自主財源』は約３２億円なんに対し、地方交付税や国・県からの補助金、町の借金でもある「町債」などの『依存財源』は約４０億円と全体の半分以上を占めており、板野町の財政基盤が決して強くはない、ということを表しとんじゃ！

○歳入の対前年度比



歳入合計
73.8億円

歳入合計
71.9億円

繰入金が去年と比べて減って
ごっつい減っとんやなぁ

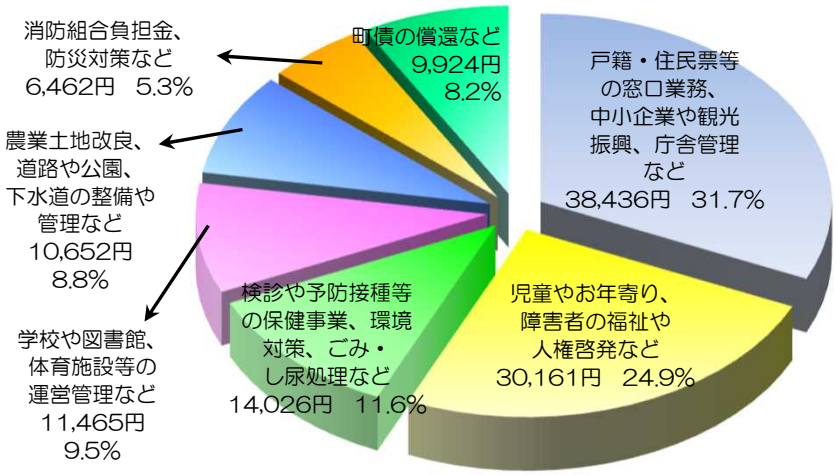
ほうよ！
繰入金が減ったんは、道の駅整備事業の進捗によって基金からの取崩しが大幅に減ったことが要因じゃ。
ほなけど、減ったとはいえ、町の貯金である基金は重要やけん、今後の町財政に大きな影響を及ぼさんように、これからじっくり検討していかなあかんなぁ。

Q4-1　町に納める税金て、どんなもんなん？

税目		R1年度収入済額	主な内容
個人町民税	均等割	21,655千円	年額3,500円
	所得割	497,461千円	（前年中の総所得金額等－所得控除額）×税率６％
法人町民税	均等割	30,539千円	１号法人（年額50,000円）～９号法人（年額3,000,000円）
	法人割	190,377千円	課税標準額×税率（8.2%）－税額控除額
固定資産税	土地	200,463千円	課税標準額（田畑、宅地など）×税率（1.4%）
	家屋	369,548千円	課税標準額（住居、事務所など）×税率（1.4%）
	償却資産	159,264千円	課税標準額（企業の機械など）×税率（1.4%）
	交付金	200千円	算定標準額（国・県所有の資産）×税率（1.4%）
軽自動車税		51,611千円	原付(50cc)年額2,000円、四輪乗用(自家用)年額7,200円など
町たばこ税		101,845千円	旧３級品以外の紙巻きたばこ 1,000本当たり6,122円

Q4-2　みんなが納めた税金て、どんなふうに使われよん？

○町民１人当たりの町税の使いみち

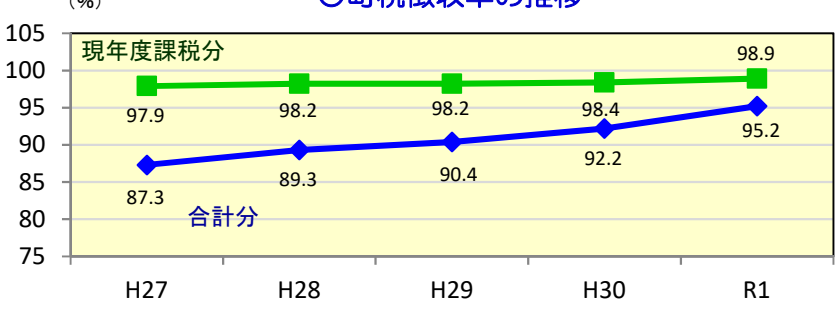


【１人当たりの町税額 ： 121,126円 、R2.3.31現在住基人口 ： 13,399人】

このように金額の多少はあっても、税金はまちのすべての人のために、様々な分野で使われとるんじゃ！
ほなけん、どんなことに税金を使うてほしいんか、いま何をせなあかんのか、っていうんを町民のみんなにも行政と一緒になって考えてほしいんじゃ！

Q4-3　税金はちゃんと納められよん？

○町税徴収率の推移

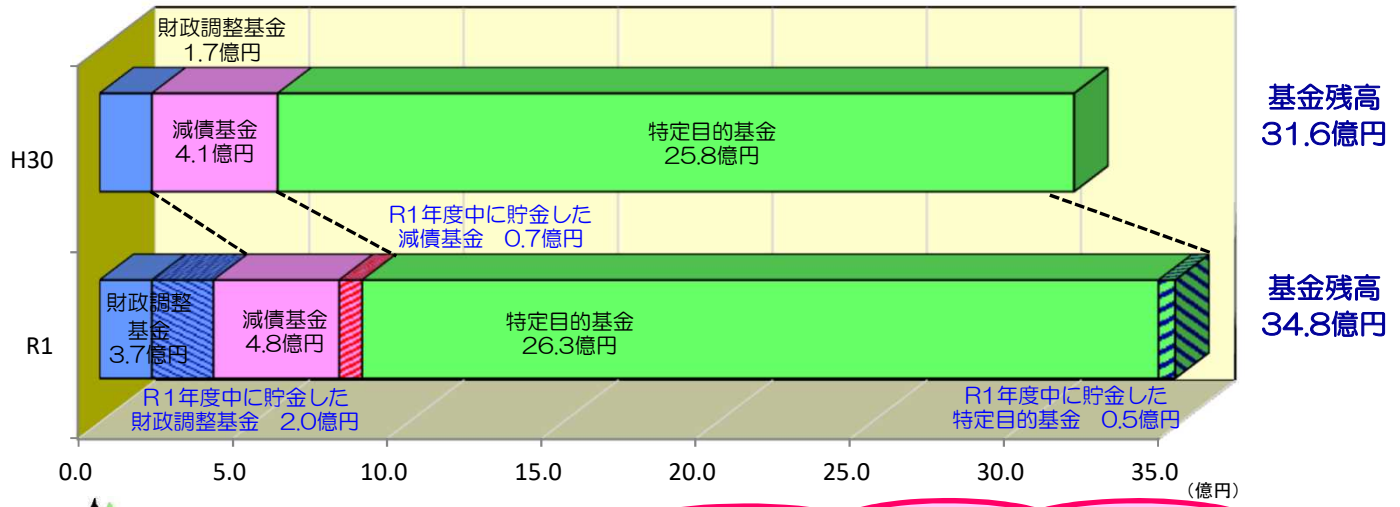


現年度課税分はほとんど納められとんやけど、滞納繰越分を含めた合計分の徴収率は低いんじゃ～！
ほなけど、役場の管理職たちで構成する『特別徴収班』を結成して訪問徴収・納税相談を行うなど、滞納解消に向けた取り組みを強化して合計分の徴収率も上がってきよんでよ。

税金は納期内に納めましょう！

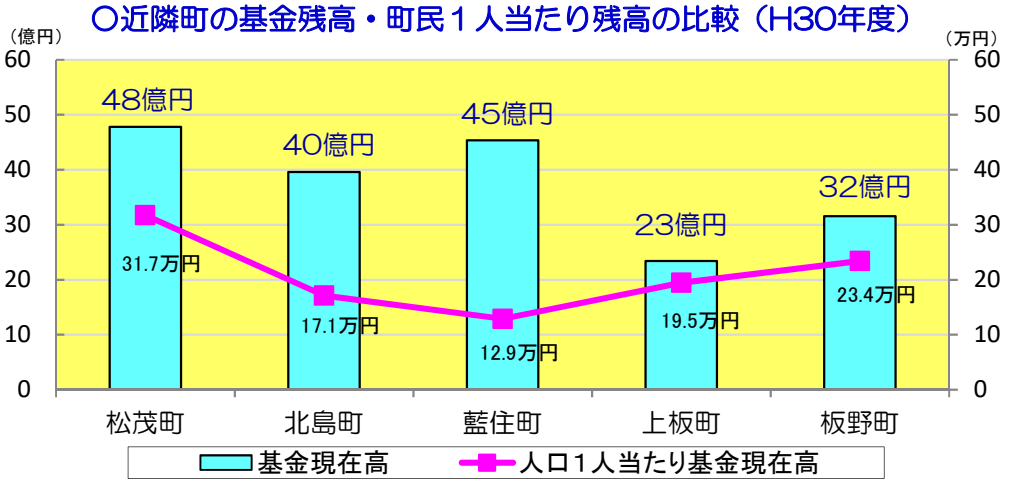
Q5-1　貯金はどのくらいあるん？　去年より増えたん？

○板野町基金残高の対前年度比



Q5-2　貯金をほかの町と比べたら　多いん、少ないん？

○近隣町の基金残高・町民１人当たり残高の比較（H30年度）



板野町の基金残高は、昨年度から増加して、令和元年度末現在で総額約34.8億円になったんでよ。

主な増額分は、「財政調整基金」への積み立てで、将来的にな財政需要に備えとるんじゃ。

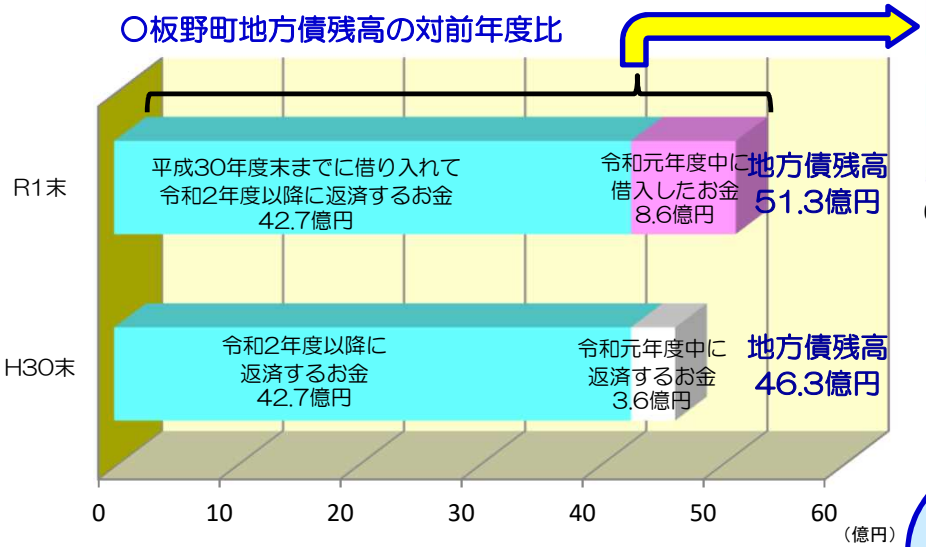
板野郡内では１人当たりの残高は２番目に、残高総額は４番目に位置しとるんでよ【平成30年度決算】。

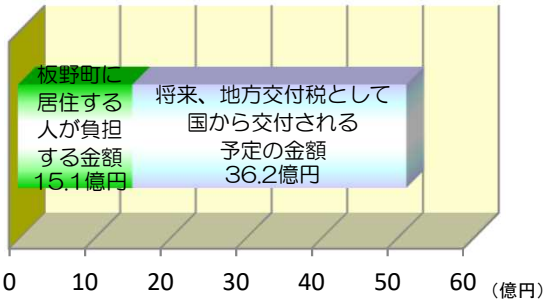
とはいえ、行政の仕事は住民サービスの向上であって、利益を上げて蓄えを増やすことではないけん、事業と積み立てのバランスに気をつけていかなあかんわなぁ・・・

まぁほんでも、基金は災害などいざという時や、今後のまちづくりに備えての貴重なお金でもあるけん、残高やその使い道をしっかりと把握しておくことも大事なことやと思うでよ～。

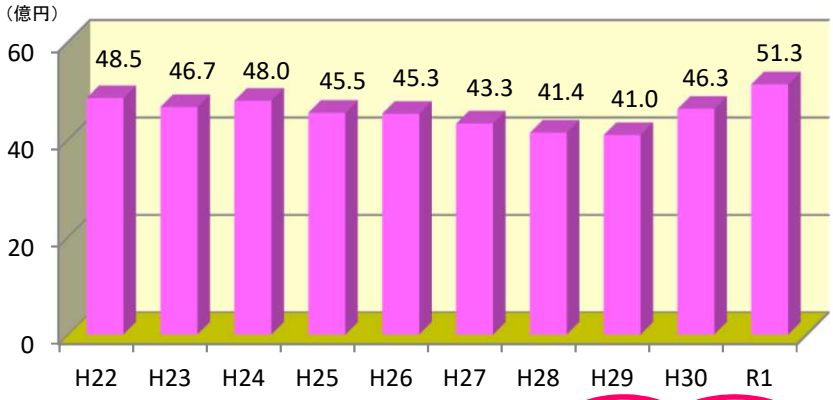
Q6-1　借金はどのくらいあるん？　去年より増えたん？

○板野町地方債残高の対前年度比





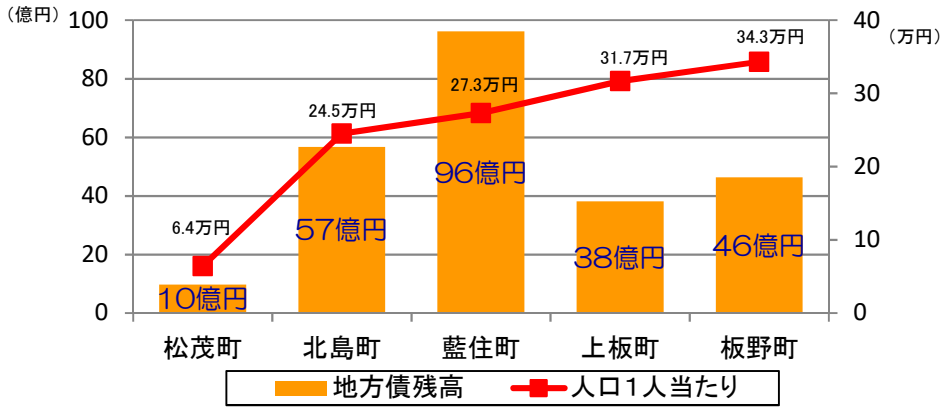
○板野町地方債残高の推移



板野町の地方債残高は51.3億円で昨年度から5.0億円の大幅な増加となったんじゃ。
平成29年度までは順調に残高を減らしとったけど、平成３０年度から道の駅整備事業が本格的に始まって、地方債の借入れが増えとんじゃ。
板野郡内で比べてみたら、残高ではちょうど真ん中に位置しとるけど町民１人当たりでは１番高い位置におるんじゃ。
こうやってみたら結構ようけ借りとるようなけど、残高の約７割にあたるお金は、地方交付税として将来に国から交付される予定やけん、住民の負担は残りの約３割で済む計算になるんじゃ。

Q6-2　借金をほかの町と比べたら多いん、少ないん？

○近隣町の町債残高・町民１人当たり残高の比較（H30年度）



借金ていうたら、ええイメージではないけんど、借入れて造った公共施設は将来の住民も利用するじゃろ？
ほなけん、今おる住民だけでなしに、将来の町民にも公平に負担してもらうために、借入れをして公共施設の整備を進めていっきょんでよ！

Q7　結局、板野町はどんなんえ!?
大丈夫なん？

ほら、ええ質問じゃわ～！
まぁ、今までみてきたグラフだけでは、貯金や借金が多すぎるんかどうか、わかりにくいかもしれんなぁ。
ほんなら、まちの財政の健全度や危険度がどのくらいなんか、わかりやすい指標にして、みてみようかぁ。
ここでは、まちの財政状況がどうなっとんかを住民に理解してもらうために、国が公表を義務づけた「４つの指標」をみてもらうわな！

○財政健全化判断比率

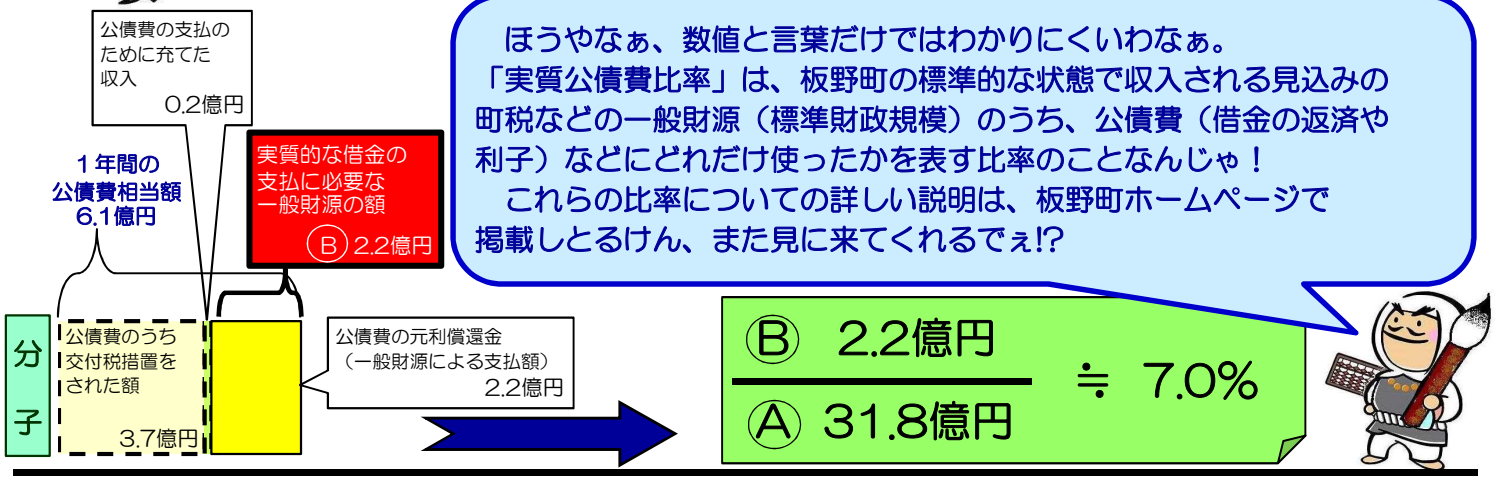
①板野町の財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	備　　考
令和元年度決算	－(※)	－(※)	7.0	－(※)	(※) 実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字の場合、将来負担比率は比率が算定されない場合「－」で表示されます。

②国が示す財政状況の健全度（危険度）の基準

国が示す基準	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	備　　考
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0	この基準を超えると、財政状況が悪化したと判断され、自主的な改善努力による財政健全化を図らなければならない。
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		この基準を超えると、財政状況が極端に悪化したと判断され、国などの関与の下、確実な再生を図らなければならない。

ん～、何やわかりにくいなぁ・・・
比率が出てないんは、ええことやと思うんやけど、
比率のある「実質公債費比率」って
結局のところ、どんなんえ～!?



ほうやなぁ、数値と言葉だけではわかりにくいわなぁ。
「実質公債費比率」は、板野町の標準的な状態で収入される見込みの町税などの一般財源（標準財政規模）のうち、公債費（借金の返済や利子）などにどれだけ使ったかを表す比率のことなんじゃ！
これらの比率についての詳しい説明は、板野町ホームページで掲載しとるけん、また見に来てくれるでぇ!?

第１章

みんなで支え合う
安心な暮らしの仕組みづくり

１．地域福祉の推進

２．保健・予防の充実

３．子育て支援の充実

４．高齢者福祉の充実

５．障がい者福祉の充実

1　地域福祉の推進

民生・児童委員活動推進事業　（福祉保健課）　３４４万円

【財源】　県：272万円　　町：72万円

民生委員は、それぞれ担当区域内で地域福祉増進のために幅広い活動を行っています。民生委員の活動を支援するため、板野町社会福祉協議会を通じて活動費を支給しました。

毎月定例会を開催し、専門部会による研修会なども行いました。

・委員数　　３８人（うち、主任児童委員　３人）

国民健康保険事業　（住民課）

国民健康保険は相互扶助の精神により、被保険者の病気やけが、出産及び死亡などに対する保険給付を行う社会保険制度として、地域医療の確保と町民の健康増進に大きく貢献するとともに、重要な役割を果たしています。

国民健康保険の運営は、国・徳島県及び板野町（保険者）による負担金と被保険者からの保険税を財源として行っています。

国民健康保険に係る事務を行い、国民健康保険の安定的な運営を推進するとともに、療養給付費の支払いのほか、高額療養費や出産育児一時金の支給などを行いました。

国保加入世帯数・被保険者数（令和2年3月31日現在）

区　　分		世帯数・被保険者数
世　　帯　　数		1,915世帯
被保険者	一　　般	3,232人
	退職被保険者等	0人
	合　　計	3,232人

後期高齢者医療事業　（住民課）

後期高齢者医療は、国・徳島県、保険者である県内市町村からの負担金や後期高齢者医療被保険者の保険料、各医療保険被保険者の保険料などを財源として後期高齢者医療広域連合が運営しています。板野町からも療養給付費負担金を支払っています。

・被保険者数　　2,100人（令和２年３月31日現在）

2　保健・予防の充実

予防接種事業　（福祉保健課）　3，157万円

【財源】　県：87万円　　町：3,070万円

町と委託契約を締結した県内指定医療機関で予防接種を実施しました。

予防接種

接　種　名	対　象　年　齢	接種回数	接種人数（延べ人数）
B型肝炎	12ヶ月未満	初回：2回 追加：1回	278人
BCG	12ヶ月未満	1回	87人
麻疹風疹混合	1期（12ヶ月～24ヶ月未満） 2期（5歳～7歳未満(小学校就学前)）	2回	178人
四種混合 (ジフテリア・破傷風 ・百日せき・ポリオ)	3ヶ月～90ヶ月(7歳半)未満 ・初回接種…3～8週間隔で3回 ・追加接種…初回3回目から 1年以上あけて1回	初回：3回 追加：1回	356人
二種混合 (ジフテリア・百日せき)	11歳以上13歳未満	1回	85人
水痘	12～36ヶ月未満	2回	166人
日本脳炎	Ⅰ期（6ヶ月～90ヶ月(7歳半)未満） ・初回…6～28日間隔 ・追加…Ⅰ期初回から1年経過後 Ⅱ期（9歳以上13歳未満）	Ⅰ期 初回：2回 追加：1回 Ⅱ期　：1回	510人
ヒブ	①2ヶ月以上7ヶ月未満の乳児 ②7ヶ月以上1歳未満の乳児 ③1歳以上5歳未満の乳幼児	①計4回 ②計3回 ③1回のみ	366人
小児用肺炎球菌	①2ヶ月以上7ヶ月未満の乳児 ②7ヶ月以上1歳未満の乳児 ③1歳以上2歳未満の乳幼児 ④2歳以上5歳未満の乳幼児	①計4回 ②計3回 ③計2回 ④1回のみ	368人
子宮頸がん	中学1年生から高校1年生相当の女子	3回	12人
インフルエンザ	65歳以上 60歳以上65歳未満で身障1級程度 （心臓、呼吸器、腎臓）該当者	1回	1,976人
高齢者肺炎球菌	65歳　70歳　75歳　80歳　85歳 90歳　95歳　100歳 60歳以上65歳未満で身障1級程度 （心臓、呼吸器、腎臓）該当者	1回	168人
風疹5期	S37.4.2～S54.4.1の間に生まれた男性で抗体検査の結果、抗体がなかった方	1回	35人

育児等健康支援事業　（福祉保健課）　７６万円

【財源】　国：18万円　　県：15万円　　町：43万円

妊婦及び出産後の子どもと保護者を対象に、保健師や助産師などによる子育ての正しい知識の普及や子育てに関する必要なサービスの情報提供を行い、訪問や相談による保護者の育児不安の軽減や健全な母性の育成支援を行いました。

母子健康教室・相談事業

区　　分	参加者人数
ベビーマッサージ教室	52 人
離乳食教室	93 人
妊産婦訪問	51 人
乳幼児訪問	70 人
思春期教育事業	― 人

母子保健事業　（福祉保健課）　１，０１７万円

【財源】　町：1,017万円

妊婦及び胎児の命と健康を守るため、妊婦健診（妊婦１人につき14回を上限）費用の助成を行いました。

また、出産後子どもの成長発達や、病気の早期発見のために乳児一般健康診査の１回分を助成しています。

- 母子健康手帳の交付件数　　８２件
- 妊婦健診受診件数　　９４２件（延べ件数）

乳幼児健診事業　（福祉保健課）　１７７万円

【財源】　県：8万円　　町：169万円

子どもの順調な成長発達と健康を守るため、乳幼児期に健康診査を実施しました。

区　　分		対象児数	受診児数
乳児健診	３～４ヶ月	83 人	73 人
	６～７ヶ月	81 人	70 人
	９～１０ヶ月	82 人	67 人
１歳児健診		75 人	61 人
１歳６ヶ月児健診		93 人	82 人
３歳児健診		110 人	100 人
１歳６ヶ月児聴力検査		80 人	64 人
２歳児歯科健診		87 人	79 人
先天性股関節脱臼検診		96 人	93 人

健康診査事業　（福祉保健課）　1，123万円

【財源】　国：41万円　その他：173万円　町：909万円

生活習慣病の早期発見を目的として、40歳以上を対象とした健康診査（生活保護受給者のみ）、がん検診、肝炎ウイルス検査などを実施しました。

また、子宮がんや乳がんに係る検診については無料クーポンを配布して、受診率の向上を図りました。

健康診査・がん検診

区　分	対象者	受診者数
健康診査(生保)	40歳以上男女	5 人
胃がん検診	40歳以上男女	285 人
大腸がん検診	40歳以上男女	666 人
子宮がん検診	20歳以上女性	291 人
乳がん検診	40歳以上女性	218 人
肺がん検診	40歳以上男女	674 人
前立腺がん検診	50歳以上男性	297 人
肝炎ウイルス検査	40歳以上男女	55 人

救急医療対策事業　（福祉保健課）　434万円

【財源】　町：434万円

夜間や休日等の救急患者受け入れを確保するため、板野郡医師会と連携を図り、救急医療サービスを実施しました。

◆在宅当番医制運営事業

日曜・祝日に当番医を定め、外来診療により救急患者に対応しています。

◆病院群輪番制運営事業

休日・夜間などに入院や手術が必要な重症患者に対する医療(二次救急医療)を行っています。本町関係では、４医療機関が順番で救急医療を行っています。

3　子育て支援の充実

児童館運営事業　（住民課）　3，606万円

【財源】　町：3,606万円

健全な遊びをとおして、児童の健康増進や豊かな情操を育むことを目的とし、異年齢の子どもたちが集い交流することにより自主性や社会性を高めるなど、児童の健全育成の推進を図りました。

【板野東児童館】

【板野西児童館】

【板野南児童館】

子ども子育て支援対策推進事業　（住民課）　８６１万円

【財源】　国：95万円　県：228万円　町：538万円

平成27年4月から施行された子ども・子育て支援新制度に基づき、子育て世帯を様々な形でサポートし、地域全体で家庭の子育て力を高めるために、病児保育事業やファミリーサポートセンター事業等を実施しました。

※ファミリーサポート … 育児など子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が会員となる組織（ファミリーサポートセンター）を設立し、地域で子育て援助活動をすることで、仕事と育児の両立支援と地域の子育て支援を行う制度です。

※病児保育 … 共働きの保護者等が病気の子どもの養育が困難な場合に、町が委託した施設で子どもを一時的に預かる制度です。

児童手当給付事業　（住民課）　１億８，２９３万円

【財源】　国：1億2,744万円　県：2,758万円　町：2,791万円

０歳から15歳までの児童を養育している父母等に対し、子どもの年齢や人数、世帯の所得状況等に応じて児童手当の給付を行いました。

子どもはぐくみ医療費助成事業　（住民課）　７，３５４万円

【財源】　県：2,721万円　町：4,633万円

子育て中の家庭の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるよう、０歳から中学３年生までの通院・入院に要する医療費の自己負担額について、全額を助成しました。

また、令和元年度からは高校生も対象として拡大し、自己負担額６００円を超えた部分を助成しました。

保育園運営事業　（板野保育園）　１億３２４万円

【財源】　国：522万円　県：520万円　その他：532万円　町：8,750万円

板野保育園の運営を行いました。通常保育のほか、午後７時までの延長保育と一時預かり事業を実施しています。

また、平成28年度より保育料の無料化を実施しており、子育て世代の経済的負担を軽減することにより、子育て支援策のさらなる充実を図っています。

地域子育て支援拠点事業　（板野保育園）　２６６万円

【財源】　町：266万円

地域の子育て支援情報の収集や提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体などと連携しながら、地域の子育て力を高める取組みを行いました。

4　高齢者福祉の充実

敬老事業　（福祉保健課）　１，１７４万円

【財源】　町：1,174万円

長年にわたり地域や社会に貢献された高齢者に対し、感謝と敬意を表するとともに、その健康と長寿を祝うことを目的として、敬老会を開催し敬老年金を支給しました。

令和元年度の敬老会は９月16日の敬老の日に、ご招待者をはじめ総勢約350名の方にご参加いただき、開催いたしました。

◆敬老年金（75歳以上）2,０６４人
◆敬老祝い金（100歳到達者）　４人
◆記念品
- ８０歳　１４４人
- ８８歳（米寿）　７８人
- ９０歳　６７人
- ９５歳　３１人
- 100歳　４人
- 100歳超　４人
- 金婚　１９組
- ダイヤモンド婚　７組

高齢者タクシー利用助成事業　（福祉保健課）　５３７万円

【財源】　町：537万円

町内に一年以上継続して在住する75歳以上の高齢者（一部対象外となる場合あり）に対してタクシー券を交付し、外出や買い物・通院等を支援することで生活範囲の拡大と社会参加を促進し、経済的負担の軽減と引きこもり・認知症の予防を目的として、高齢者福祉の向上を図りました。

介護保険事業　（福祉保健課）

高齢者が必要とする医療・保健・福祉サービス等が利用できるように、被保険者の資格管理や要介護・要支援認定等の窓口業務を行い、介護給付費の適正化に努め、健全な介護給付を推進しました。

【保険給付費】

- 介護サービス費　　10億5,117万円
- 介護予防サービス費　　3,703万円
- 高額介護サービス費　　2,125万円

○要介護（要支援）認定者数【令和元年度末現在】

		要支援		要介護					計
		1	2	1	2	3	4	5	
第1号被保険者		187	130	163	138	95	106	57	**876**
	65歳～74歳	26	13	15	22	7	11	4	**98**
	75歳以上	161	117	148	116	88	95	53	**778**
第2号被保険者（40歳～64歳）		1	4	1	6	0	1	1	**14**
総　数		**188**	**134**	**164**	**144**	**95**	**107**	**58**	**890**

社会福祉協議会助成事業　（福祉保健課）　１，１２５万円

【財源】　町：1,125万円

社会福祉協議会は町民の皆さんや各種関係機関・団体などと連携し、地域福祉の推進を図っています。社会福祉協議会が地域福祉の中心的役割を担い、町民が支えあいながら安心して暮らせるまちとなるよう、町から補助金を支出しました。

配食サービス事業　（福祉保健課）　１９５万円

【財源】　その他：112万円　　町：83万円

町内の一人暮らしの高齢者や介護の必要な方のために、健康維持や自立生活の継続などを目的として、栄養バランスのとれた食事を定期的に宅配するサービスを行いました。

養護老人ホーム運営事業　（老人ホーム）　４，７７５万円

【財源】　その他：4,775万円

65歳以上で、環境上及び経済的な理由により居宅において生活することが困難な方が入所する養護老人ホームの運営を行いました。

令和２年３月末現在の養護老人ホーム「しあわせの里」の入所者は３７名で、そのうち１３名が板野町の措置者となっています。

５　障がい者福祉の充実

重度心身障がい者医療費助成事業（福祉保健課）　４，１７４万円

【財源】　県：2,062万円　　町：2,112万円

心身に一定の障がいを持つ方の保健の向上及び福祉の増進を図ることを目的とし、重度心身障がい者に対して、その医療費の一部を助成しました。

障がい福祉サービス事業　（福祉保健課）　４億８，３５４万円

【財源】　国：2億5,391万円　　県：1億2,631万円　　町：1億332万円

障がいのある方が、その種別（身体・知的・精神障がい）にかかわらず、共通の福祉サービスの中から必要とするサービスを自ら選択し、事業者や施設と契約を結んで利用したサービスに要した経費の一部について給付を行いました。

自立支援医療給付事業　（福祉保健課）　3，377万円

【財源】　国：1,333万円　　県：146万円　　町：1,898万円

　自立支援医療制度は、障がいのある方の医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度です。

　収入や所得、障がいの状況に応じて一ヶ月あたりの負担の上限額が決められており、無制限に負担が大きくならないように軽減措置を実施しました。

地域生活支援事業　（福祉保健課）　1，725万円

【財源】　国：347万円　　県：173万円　　その他　：　1万円　　町：1,204万円

　障がい者が有する能力や適正に応じ、自立した生活を営むことができるよう、各種支援事業等サービスの提供などを行いました。

第２章

安全で美しい田園空間づくり

１．適切な土地利用の推進

２．防災・防犯体制の向上

３．循環型まちづくりの推進

４．上下水道事業の推進

2　防災・防犯体制の向上

災害対策事業　（総務課）　７９４万円

【財源】　県：239万円　その他：300万円　町：255万円

近い将来の発生が危惧される南海トラフ地震をはじめ、大型台風や集中豪雨等の大規模災害から住民の生命や財産を守るため、災害対策の強化を図りました。

令和元年度は、指定避難施設である老人憩の家等（２０ヶ所）にラップ式トイレを備蓄したほか、非常食や救援物資などを避難所に設置している簡易備蓄庫へ備蓄しました。

防災対策事業　（総務課）　３６６万円

【財源】　町：366万円

東日本大震災や近年の風水害の多発、南海トラフ地震の発生確率も年々高まっていることから、住民の防災減災対策に対する関心も非常に高くなっています。

令和元年度は東地区、西地区、南地区の計３ヶ所で防災訓練を行い、町民の方や自主防災組織等約２２０人が参加し、町内で震度６強の地震を観測し、避難所が開設されたとの想定で避難訓練に取り組んでいただきました。

消防団活動推進事業　（総務課）　１，１０３万円

【財源】　その他：2万円　町：1,100万円

火災の未然防止や発生時の初期消火活動、台風などによる災害発生時の迅速な対応と被害の最小化を図るため、消防団活動の推進を図りました。

消防団の出動状況

出動区分	延日数	延人数	摘　要
建物火災等	2日	105人	住宅火災
水防出動等	2日	82人	台風10号他
捜索活動等	0日	0人	
予防・警戒	2日	139人	年末警戒
演習・訓練	20日	240人	操法大会・訓練
			防災避難訓練
			文化財防火訓練
			非常呼集訓練
会議	4日	50人	幹部会議等
その他	1日	80人	消防団出初式

消防施設維持管理事業　（総務課）　３７２万円

【財源】　町：372万円

万一の火災や台風などの災害発生時に、効率的な対策・対応を行うための消防施設（詰所、車両、消火栓等）の維持管理を行いました。

交通安全運動団体育成事業　（総務課）　９０万円

【財源】　町：90万円

交通安全思想の普及及び指導の徹底、交通指導員の育成・強化を図るとともに、町内の交通事故の防止を図るため、交通安全に関する活動を行う団体の運営に必要な経費に対して補助金の交付を行いました。

木造住宅耐震支援事業　（建設課）　９１３万円

【財源】　国：406万円　県：234万円　町：273万円

町内における、地震に対して倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性の向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断及び耐震リフォーム工事などに係る費用の一部について補助金を支出しました。

- 耐震診断等　（15件）　181万円
- 耐震改修　（6件）　642万円
- 住替え支援　（3件）　90万円

老人憩の家耐震事業　（福祉保健課）　１，８５８万円

【財源】　国：195万円　町債：810万円　町：853万円

町の避難所に指定されている施設について、順次耐震診断を行い、必要に応じて耐震改修工事を実施します。

令和元年度は、中久保老人憩の家の耐震改修工事を行いました。また、大寺老人憩いの家等の耐震診断を実施しました。

町民センター耐震事業　（福祉保健課）　７，３１７万円

【財源】　町債：6,000万円　町：1,317万円

町の拠点避難所や福祉避難所に指定されている町民センターは、昭和51年に建設され、耐震性能が不足していることから耐震改修工事を行いました。

3　循環型まちづくりの推進

ごみ処理事業　（環境生活課）　4，060万円

【財源】　その他：219万円　　町：3,841万円

　生ごみやリサイクルに適さない紙類などの可燃ごみの収集と、収集のためのごみステーションの維持管理を行いました。

不法投棄物処理等事業　（環境生活課）　40万円

【財源】　町：40万円

　生活環境を守るため、廃棄物の不法投棄防止対策を強化するとともに、道路・河川・山林等に投棄された廃棄物の迅速な回収と適正な処理を行いました。

　また、定期的に町内を巡回するなどし、不法投棄防止対策に努めました。

地球温暖化対策事業　（環境生活課）　1，261万円

【財源】　町：1,261万円

　循環型社会を目指し、古紙や金属類、カン類など資源ごみの回収を行い、リサイクルを推進することにより、ごみの減量化や地球に配慮した環境づくりと、町民のみなさんの環境意識の向上を図りました。

　また、ごみの減量化のため、生ごみ処理機器を購入した人に対して助成を行いました。

　毎月第２、第４月曜日(祝日・年末年始を除く)と第３日曜日には、板野町環境センターで大型複合ごみや有害ごみと併せて資源ごみの回収も行いました。

し尿処理施設(ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ)管理運営事業（環境生活課・クリーンセンター）　7，522万円

【財源】　その他：677万円　　町：6,845万円

　町内で下水道を利用している地域以外のし尿や浄化槽汚泥の処理を行いました。

　同センターは、築38年が経過しており、処理機器等のメンテナンス及び施設の修繕なども行いました。

4　上下水道事業の推進

合併浄化槽整備事業　（下水道課）　５９２万円

【財源】　国：235万円　県：33万円　町：324万円

公共下水道整備区域外での生活排水による水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため、合併浄化槽設置補助金の交付を行い、合併浄化槽の設置を推進しました。

・補助件数　２９件（５人槽 １８件、７人槽 １１件）

公共下水道事業　（下水道課）　１億４，６３３万円

【財源】　国：6,000万円　町債：8,410万円　その他：57万円　町：166万円

快適な生活環境を確保するため、公共下水道の計画的な整備や排水の適正処理を図り、整備の完了した区域から供用を開始しています。

令和元年度は、大寺字岡山路、犬伏の各一部地区で供用開始しました。

下水道施設の維持管理　（下水道課）　４，０４８万円

【財源】　町：4,048万円

下水処理を行う浄化センターは、徳島県が主体となって運営しており、旧吉野川流域の２市４町（板野町と徳島市(吉野川北岸)、鳴門市、松茂町、北島町、藍住町）がそれぞれ負担金を支出しています。併せて町有施設の維持管理も行っています。

水道施設整備事業　（水道課）　８，９９１万円

【財源】　補助金：1,440万円　町債：7,200万円　その他：351万円

板野町の生活用水は、新田地区及び西中富・中久保地区の地下水を水源とした上水道によって供給しています。安全でおいしい水を供給するため、計画的に水道施設の整備を行っています。

令和元年度は、那東地区で配水管の布設替工事を実施し、道の駅整備事業に係る配水管の新設工事並びに耐震性貯水槽設置工事に着手しました。

第３章

連携強化による産業づくり

１．農業の振興

２．商工業の振興

３．観光の振興

４．基幹産業のブランド化と産官学の交流促進

1 農業の振興

多面的機能支払交付金事業　（産業課）　５０６万円

【財源】　県：382万円　町：124万円

農業・農村の有する多面的機能（洪水や土砂崩れの防止、自然環境の保全、美しい風景の形成などの様々な働き）の維持・発揮を図るための地域活動に取り組む団体に対して、交付金を交付しました。

経営所得安定対策等推進事業　（産業課）　２０８万円

【財源】　県：208万円

経営所得安定対策の実施に係る推進活動や要件確認等に必要な経費を事業実施主体である板野町農業再生協議会に対し助成し、農業経営の安定と生産力の確保を図るとともに食糧自給率の向上と農業の多面的機能の維持に努めました。

農業次世代人材投資事業　（産業課）　４５０万円

【財源】　県：450万円

次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対して資金を交付する事業です。

力強い農業の振興と担い手の育成のため、国の補助事業を活用して新規就農者を支援しました。

令和元年度は３件の給付を行いました。

鳥獣被害対策事業　（産業課）　１３４万円

【財源】　県：17万円　町：117万円

イノシシ・サルなどの有害鳥獣から農家の作物を守るため、有害鳥獣の駆除を実施しているほか、平成23年度からは鳥獣による田畑への侵入防止のため、「防護柵等の資材提供」を実施しています。

主な有害鳥獣の捕獲実績　単位(頭、匹)

鳥獣名	捕獲数
イノシシ	126
サル	8
カラス	5
タヌキ	5
アライグマ	1
ハクビシン	12
シカ	4
合　計	161

防護柵等整備状況

年　度	柵の延長	受益戸数
平成26年度	L= 2,000m	21戸(2.8ha)
平成27年度	L= 2,680m	46戸(5.1ha)
平成28年度	L= 2,600m	42戸(5.5ha)
平成29年度	L= 2,850m	31戸(4.3ha)
平成30年度	L= 1,800m	28戸(3.3ha)
令和元年度	L= 0m	-戸(-ha)

2　商工業の振興

商工振興事業　（産業課）　３７８万円

【財源】　県：1万円　　町：377万円

　商工業の振興のため、商工会が開催する経営相談や各種研修会などへの補助、商工会及び商工会に属する企業・団体などの育成と活動支援を行いました。

企業誘致活動事業　（産業課）　６，９６０万円

【財源】　町：6,960万円

　町内経済の活性化を図るため、企業を誘致するための工業団地を整備しています。平成３０年度から４ヵ年にかけて土地造成工事を進めています。

プレミアム付商品券事業　（産業課・福祉保健課・住民課）　３，８４６万円

【財源】　国：1,352万円　　その他：2,361万円　　町：133万円

　消費税率の10%への引き上げが低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに地域における消費を喚起することを目的としてプレミアム付商品券を発行しました。

消費者生活対策事業　（産業課）　８１７万円

【財源】　県：276万円　　その他：15万円　　町：526万円

　消費者が消費生活に関する知識を習得し、自主的かつ合理的に行動することで健全な消費生活を営むことができるよう努めました。

　また、消費生活に関する講座等を開催することによって、様々な情報に接する機会の積極的な提供を行いました。

新未来創造・消費者行政推進事業　（産業課）　２２８万円

【財源】　県：152万円　　町：76万円

　板野町が消費者行政を推進する「新南海道再興戦略特区（新未来創造・消費者行政推進事業）」が、徳島県より「徳島版地方創生特区」として認定を受け、地域見守り活動や啓発活動の強化、エシカル消費の推進等を行っています。

3　観光の振興

あせび温泉やすらぎの郷運営事業　（産業課）　７，４７０万円

【 財 源 】　使用料：5,159万円　その他：142万円　町：2,169万円

平成14年に開業した「あせび温泉やすらぎの郷」は、大坂甚左原から湧き出る水量豊かな鉱泉を使用し、町民をはじめとする利用者の方々に良質な湯を堪能していただいています。

施設周辺の歴史や四季折々の借景を楽しみながら、憩いや潤いの場として、幅広い交流の場として、また健康づくりの場として利用していただけるよう努めました。

あせび温泉やすらぎの郷改修事業　（産業課）　２１７万円

【 財 源 】　町：217万円

「あせび温泉やすらぎの郷」は、建築後17年が経過し、外観や設備が老朽化しているため改修工事を行います。

令和２年度の工事に向けて、令和元年度は実施設計を行いました。

道の駅整備事業　（建設課・産業課・総務課）　７億９，３１１万円

【 財 源 】　国：1億4,225万円　町債：5億6,900万円　町：8,186万円

徳島県に「徳島版地方創生特区」として認定を受けた「いたの再興新南海道戦略」に基づき、産直市・レストラン等の地域振興施設や避難所・ヘリポート等の防災拠点等を備えた「道の駅いたの」の整備を進めています。

令和元年度は、造成工事や地域振興施設の建築を進めるとともに防災拠点等の建築に着手しました。

4　基幹産業のブランド化と産官学の交流促進

農産物六次産業化推進事業　（産業課）　１４２万円

【 財 源 】　国：57万円　その他：25万円　町：60万円

町内農産物を使用した商品のさらなる販路拡大のため、徳島県と７市町で構成される「とくしま六次産業化推進連携協議会」の事業として首都圏で開催された展示商談会に参加しました。

第４章

人・もの・情報が集う都市基盤づくり

１．市街地環境の整備

２．道路・交通機能の充実

３．公共空間の整備・促進

1　市街地環境の整備

防犯灯整備・維持管理事業　（総務課）　1，029万円

【財源】　町：1,029万円

明るい犯罪のない町づくりの推進を図るため、防犯灯の設置や修繕を行いました。

また、省エネや環境に配慮するため、防犯灯のLED化を推進しました。

・町管理防犯灯総数　1,590本
　うち令和元年度新設分　11件
　うちLED化防犯灯総数　958本

（令和2年3月31日現在）

2　道路・交通機能の充実

舗装修繕事業　（建設課）　2，533万円

【財源】　町債：2,270万円　町：263万円

主要な道路について、路面性状調査の結果を基に舗装修繕を行い、地域道路網の安全性・信頼性の確保を図りました。

橋梁長寿命化修繕事業　（建設課）　1，134万円

【財源】　国：605万円　町債：440万円　町：89万円

老朽化した橋梁の長寿命化、修繕費用等の縮減、地域道路網の安全性確保を図るため、「板野町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、市橋の修繕工事を行いました。

橋梁定期点検事業　（建設課）　957万円

【財源】　国：526万円　町：431万円

板野町が管理する橋梁232橋のうち58橋について定期点検を行い、地域道路網の安全性・信頼性の確保に努めました。

地方道路等整備事業　（建設課）　1，215万円

【財源】　町債：1,050万円　　町：165万円

道路拡幅工事等を行い、生活道路の利便性の確保を図りました。

・町道191号線　　1,215万円

町単独土木事業　（建設課）　6，842万円

【財源】　町：6,842万円

道幅の狭い箇所の拡幅工事や町民の日常生活に必要な生活道路などの新設、維持補修を行いました。

交通安全施設整備事業　（建設課）　249万円

【財源】　町：249万円

歩行者の安全確保や自動車交通の円滑化を図るため、防護柵（ガードレール、ガードパイプ等）や道路反射鏡（カーブミラー）などを設置しています。

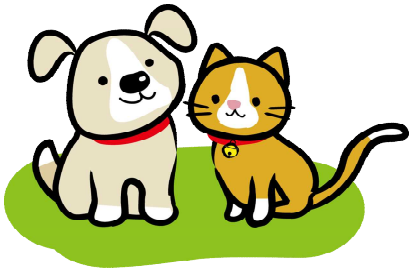
令和元年度は17ヶ所の整備を行いました。

3　公共空間の整備・促進

動物愛護・適正管理事業　（環境生活課）　２６１万円

【財源】　県：261万円

生後90日を超えて、登録申請のあった飼い犬には「鑑札」を、狂犬病予防注射を受けた犬には「注射済票」を、それぞれ交付しました。



排水路環境美化推進事業　（環境生活課）　９２万円

【財源】　町：92万円

快適で衛生的な生活環境を確保するため、自治会などが自主的に取り組む排水路などの清掃活動への助成を行いました。道路の草刈りや水路の浚渫作業を行った団体に対し、作業参加人数に応じた活動補助金を交付し、令和元年度は50団体の申請がありました。

町営住宅維持管理事業　（建設課）　３，１７６万円

【財源】使用料：2,495万円　町：681万円

町営住宅１４団地(全７０棟)、５８２戸の修繕や周辺の環境整備を行うとともに、家賃収納率の向上に努めました。

公営住宅ストック総合改善事業　（建設課）　１，９６８万円

【財源】国：555万円　町債：470万円　町：943万円

板野町公営住宅等長寿命化計画に基づき、施設の長期的な活用を図るため町営住宅外壁の改修を行っています。

令和元年度は、第１団地５棟の改修が完了し、また、第１団地４棟の改修に着手しました。

第５章

学びと文化が香るまちづくり

１．人権の尊重と共生社会の形成

２．児童・生徒の教育環境の整備充実

３．生涯学習・生涯スポーツの促進

４．歴史・文化の継承と創造

1　人権の尊重と共生社会の形成

隣保館基本事業　（人権コミュニティ課）　３０１万円

【財源】　県：225万円　その他：7万円　町：69万円

地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に実施しました。

人権啓発推進事業　（人権コミュニティ課）　１０７万円

【財源】　県：24万円　町：83万円

町民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「心豊かな人権文化のいきづくまちづくり」を推進し、あらゆる人権問題・同和問題の解決に向けた施策に取り組んでいます。

令和元年度は、作家のドリアン助川さんによる「私たちはなぜ生まれてきたのか？」と題した講演などを開催しました。

令和元年度 人権講演会

人権教育事業　（教育委員会）　２１４万円

【財源】　町：214万円

同和問題をはじめ女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人・インターネットによる人権侵害など様々な人権問題をなくすため、想いを作品に込めた人権啓発文化展を開催しました。

また、町内の子ども達の人権学習の成果を発表したり、声優の佐久間レイさんから「絆の大切さ～やわらかな心で自分らしく生きる～」と題した人権問題講演会を開催しました。

その他にも、町内学校の教職員と役場職員合同の研修会を開催し、人権意識を深めました。

2　児童・生徒の教育環境の整備充実

幼稚園運営事業　（教育委員会）　2，583万円

【財源】　国：104万円　県：172万円　その他：120万円　町：2,187万円

幼稚園において、幼児期にふさわしい体験遊び（学び）を通して、発達に応じた基本的な生活習慣の自立、規範意識などの生きる力の基礎を養い、園児の心身の健全な発育に努めました。

また、希望者には午後６時までの預り保育を実施しました。

学校運営事業　（教育委員会）　6，437万円

【財源】　県　：　2万円　その他：157万円　町：6,278万円

児童や生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、学校運営に取り組んでいます。

小学校児童数（　）内は特別支援学級数(外数)　　令和元年5月1日現在

学　校　名	児 童 数	学 級 数
板野東小学校	３１３人	１２学級(５)
板野東小学校大坂分校	１人	１学級(０)
板野西小学校	１１９人	６学級(２)
板野南小学校	１４１人	６学級(２)
合　　計	５７４人	２５学級(９)

中学校生徒数（　）内は特別支援学級数(外数)　　令和元年5月1日現在

学　校　名	生 徒 数	学 級 数
板野中学校	３０７人	９学級(２)

子ども外国語活動支援事業　（教育委員会）　256万円

【財源】　町：256万円

国際化社会で活躍する人材育成を目的に、小さい頃から英語に慣れ親しむため、幼稚園や小学校で簡単な英会話を実践する事業を実施しました。

学校給食事業　（給食センター）　1億2，765万円

【財源】　その他：2,399万円　町：1億366万円

板野町単独の学校給食センターとして、町内の幼稚園児や小中学生達に安心安全な給食を提供しました。

3　生涯学習・生涯スポーツの促進

図書館運営費　（文化の館）　1，109万円

【財源】　その他：500万円　　町：609万円

教養・趣味・調査研究などを通して豊かな生活ができるよう、すべての世代への生涯学習を支援するため、図書等情報資料を収集・保管し、利用者への貸出を行いました。

文化振興事業　（文化の館）　162万円

【財源】　県：6万円　　町：156万円

童謡やわらべ歌が持つ様々な魅力を町の文化遺産として継承していくことを目指し、童謡とわらべ歌のつどいなどを開催しました。

体育振興事業　（健康の館）　190万円

【財源】　町：190万円

町民の皆さんが、「いつでも、どこでも、誰でも」スポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指し、体育振興団体の運営を支援しました。

体育施設維持管理事業　（健康の館）　2，472万円

【財源】　その他：195万円　　町：2,277万円

体育施設や設備の保守・点検等を実施し、町民が安全にスポーツ活動に親しむことのできる環境を整えることで、スポーツに触れる機会の充実や運動に対する意識の高揚を推進し、健康の促進や体力の向上を図りました。

【町民プール】

【健康の館】

【体育センター】

あさんウォーキングフェスタ事業（健康の館）　４５０万円

【財源】　町：450万円

「環境と健康を考える…」をテーマに、自然環境保護や健康の大切さ等のメッセージを全国へ発信することで、地域活性化・文化の発展を図るとともに、『ウォーキングのまち・板野町』のＰＲを行いました。

本格的なウォーキングが楽しめる10㎞コース、気軽に参加できる４㎞コース合わせて約3,500人の参加者が板野町の秋の風景とウォーキングを楽しみました。

Ｊリーグチーム応援事業（産業課）　５０万円

【財源】　町：50万円

板野町に活動拠点を置くＪリーグチームの徳島ヴォルティスを支援することで、町民の皆様がスポーツをより身近に感じていただき、また子どもたちが夢や希望を持てる町づくりに努めました。

4　歴史・文化の継承と創造

文化財保護意識啓発事業（文化の館）　１３４万円

【財源】　県：9万円　町：125万円

古来より交通の要衝として栄えてきた板野町には全国に誇ることのできる様々な文化財施設が点在しており、町ではこれらの施設を文化の継承と交流に活用し、住民の文化意識の向上と人の育成、町の発展へと結びつける活動を行いました。

文化の館管理運営費（文化の館）　３，７９７万円

【財源】　その他：123万円　町：3,674万円

文化の館は豊かな自然に包まれた町の中央部にあり、町民の文化意識を高める施設としての役割を果たしています。

第６章

協働によるまちづくり

１．地域コミュニティの活性化

２．信頼される役場づくりと行財政改革の推進

1　地域コミュニティの活性化

町民センター管理事業　（福祉保健課）　５９７万円

【財源】　その他：14万円　　町：583万円

　社会福祉協議会や健康相談室、消費生活相談所などが業務を行っている、板野町の福祉行政の中核を担う町民センターの管理運営を行いました。

隣保館管理運営事業　（人権コミュニティ課）　７０８万円

【財源】　県：377万円　　その他：8万円　　町：323万円

　施設利用にあたり、安全・安心・快適に隣保館を利用していただくための管理運営を行いました。

青少年健全育成運動推進事業　（教育委員会）　５３６万円

【財源】　県：2万円　　町：534万円

　地域・学校と連携して、子どもたちの健全な育成を図るため、青少年補導センターへの負担金、町ＰＴＡ連合会や親子会連絡協議会などの団体への補助金を交付しました。

2　信頼される役場づくりと行財政改革の推進

広報広聴事業　（総務課）　４０２万円

【財源】　国：1万円　　その他：4万円　　町：397万円

　町の施策や事業内容、財政状況などについて広く町民の皆さんに周知するため、広報紙の作成・配布及びホームページへの掲載・更新をしています。

電子自治体運営推進事業　（総務課）　5，476万円

【財源】　町：5,476万円

町の基幹業務システム及び財務会計システムなどの一括運営事業です。
ソフトウエア、サーバー及び端末機器等の維持管理等を実施しました。

戸籍電算化推進事業　（住民課）　432万円

【財源】　その他：432万円

戸籍総合システムの利用により、住民一人ひとりの重要な情報を管理し、記載や審査など職員の負担が大きい戸籍業務について一元管理を行うことで、事務の効率化、住民サービスの向上に努めました。

行政改革推進事業　（総務課）　135万円

【財源】　町：135万円

人事評価制度は、職員のやる気や向上心、能力を高め行政サービスの質の向上を目的として導入するものです。

評価の客観性や公平性を確保し、効率的・効果的な運用を行うための評価システムの運用支援についての業務を委託しました。

社会保障・税番号制度システム整備事業　（総務課）　5，313万円

【財源】　国：2,391万円　町：2,922万円

自治体中間サーバー・プラットフォーム利用に係る負担金や次期システム更改に向けた経費を支出しました。

証明書等コンビニ交付事業　（住民課）　452万円

【財源】　その他：9万円　町：443万円

マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアで休日や夜間でも住民票の写しや所得課税証明書などの証明書が取得できるコンビニ交付サービスを実施する事業です。証明書の交付に係る手数料やシステムの運用に係る委託料を支出しました。

ふるさと納税促進事業　（総務課）　1，156万円

【財源】　その他：1,156万円

板野町を愛し、応援しようとする皆さまからふるさと納税（寄附）を募り、「ふるさと応援基金」に積み立て、これを財源として各種事業を展開してます。

また、寄附をいただいた方へ返礼品を送付することで地元産品のＰＲや地元業者の活性化を図っています。

・令和元年度寄附実績　　946万円（617件）

板野西部消防組合負担金　（総務課）　1億9，429万円

【財源】　町：1億9,429万円

消防事業は、板野町と上板町の２町で一部事務組合である「板野西部消防組合」を組織して運営しており、板野町からも運営費の一部を負担金として支出しています。

広域行政推進事業(一部事務組合負担金)（議会事務局・税務課・環境生活課）　2億5，761万円

【財源】　町：2億5,761万円

地方公共団体の事務の中には共通したり重複した事務があり、それぞれ近隣の市町村と広域的な視点から連携・調整、効率化を図ることで、事務の効率化や経費の削減へとつながります。このように、市町村の枠を超え、広域的に事務を行うために組織された団体を「一部事務組合」といいます。一部事務組合を構成する市町村はその組合の運営経費を、人口や利用者数など合理的な割合に応じて負担することとなります。

・市町村議会議員公務災害補償等組合　　4万円
・徳島県滞納整理機構　　213万円
・中央広域環境施設組合　　2億5,544万円

窓口案内業務

役場に訪れた方のご用に合わせて、どの部署に行けばよいのかなどを職員が案内しています。

窓口案内を行う職員は出先を除く全職員で、１人ずつ２時間から２時間30分の交代制で行っています。

総合行政の成果

公有財産関係

人事関係

税務関係

戸籍・住民基本台帳等関係

国民年金関係

選挙関係

議会関係

公有財産関係

町有財産の管理 （総務課）

町が所有する土地・建物などの管理を行いました。
道の駅用地の取得などにより土地面積が増えています。

単位（㎡）

区分			平成30年度末現在		年度中増減		令和元年度末現在	
			土地（地積）	建物（延面積）	土地（地積）	建物（延面積）	土地（地積）	建物（延面積）
行政財産	公用財産	本庁舎	3,028	1,923	0	0	3,028	1,923
		消防施設	2,860	727	0	0	2,860	727
		その他施設	5,206	2,260	0	0	5,206	2,260
	公共用財産	学校	56,247	17,642	0	0	56,247	17,642
		公営住宅	20,546	31,256	0	0	20,546	31,256
		公園	4,419	197	0	0	4,419	197
		その他施設	189,585	37,261	3,211	0	192,796	37,261
	山林等		1,912,395	0	31	0	1,912,426	0
普通財産			4,210	536	0	0	4,210	536
合計			2,198,496	91,802	3,242	0	2,201,738	91,802

※行政財産…町有財産のうち、直接公の目的のために使用されている財産。
役場庁舎や学校、町営住宅などがこれにあたります。
※普通財産…町有財産のうち、行政財産でないものをいいます。
直接公の目的に供されるものではないため、貸し付けを行うことができます。

人事関係

職員研修事業 （総務課） ２８万円

【財源】 町：28万円

職員の自己啓発と能力向上を目的として、研修機関への派遣研修及び職場内での研修を行いました。研修により「自ら考えて行動できる」職員を育成し経営意識の向上を図ることで、多種多様な行政ニーズや課題に対して柔軟な対応・積極的な行動のできる人材を確保し、より良い行政サービスの提供に努めました。

税務関係

標準宅地鑑定事業 （税務課） ９０８万円

【 財 源 】 町：908万円

固定資産税は、適正かつ公平な課税を行うため、３年に１度の評価替えを行います。令和３年度評価替え(基準年度)に向けて、標準宅地の鑑定評価の見直しなどを行いました。

また、令和元年度も引き続き地価の下落がみられる地域において、その下落率を令和２年度固定資産税評価額に反映させるため、標準宅地価格の時点修正を行いました。

戸籍・住民基本台帳等関係

戸籍に関する事務 （住民課）

戸籍の総数（令和2年3月31日現在）

本 戸 籍 数	6,670戸籍
戸籍人口数	15,709人

人口動態に関する事務 （住民課）

人口動態処理事務

区　分	出　生	死　亡	死　産	婚　姻	離　婚	合　計
件　数	82件	147件	1件	52件	22件	304件

人口移動

- 住民基本台帳登録人口（令和２年３月31日現在） 13,399人
- 住民基本台帳登録世帯（令和２年３月31日現在） 5,699世帯
- 転入者数 426件
- 転出者数 430件
- 転居者数 247件

人口の推移（各月末現在）

区　分	４月末	５月末	６月末	７月末	８月末	９月末
人　数	13,501人	13,490人	13,505人	13,480人	13,492人	13,480人
世帯数	5,670世帯	5,668世帯	5,673世帯	5,674世帯	5,685世帯	5,687世帯
区　分	10月末	11月末	12月末	１月末	２月末	３月末
人　数	13,448人	13,437人	13,439人	13,433人	13,414人	13,399人
世帯数	5,677世帯	5,682世帯	5,688世帯	5,694世帯	5,690世帯	5,699世帯

国民年金関係

国民年金に関する事務　（住民課）

国民年金被保険者数　　（令和2年3月31日現在）

被保険者	第１号	1,737人
	任意加入	20人
	第３号	637人
	合　計	2,394人

免除状況	法定免除	242人	申請免除（1/4）	6人
	申請免除（全額）	332人	学生納付特例	169人
	申請免除（3/4）	34人	納付猶予	61人
	申請免除（半額）	26人	合　計	870人

国民年金被保険者関係届出数

新規・再取得	任意加入	付加保険料		資格喪失			住所変更		
		納付	辞退	喪失	申出	死亡	転居	転入	転出
483件	15件	11件	7件	600件	0件	0件	0件	94件	88件

種別変更	変更・訂正		資格関係記録		
	氏名	生年月日	提出	追加	取消
76件	0件	0件	0件	0件	0件

国民年金保険料免除届出件数

法定免除		申請免除	学生納付特例
該当	消滅		
22件	22件	148件	42件

無拠出年金者の移動状況

	老齢福祉年金
加入者数	0件
死亡者数	0件

選挙に関する事務　（総務課）

平成31年4月7日執行　統一地方選挙　　（単位：人）

	県知事選挙			県議会議員選挙		
	男	女	合計	男	女	合計
有権者数(人)	5,433	5,958	11,391	5,432	5,956	11,388
投票者数(人)	2,715	2,892	5,607	2,696	2,873	5,569
投 票 率(%)	49.97	48.54	49.22	49.63	48.24	48.90

令和元年7月21日執行　参議院議員通常選挙　　（単位：人）

	選挙区選出議員選挙			比例代表選出議員選挙		
	男	女	合計	男	女	合計
有権者数(人)	5,520	6,037	11,557	5,520	6,037	11,557
投票者数(人)	2,042	2,124	4,166	2,043	2,124	4,167
投 票 率(%)	36.99	35.18	36.05	37.01	35.18	36.06

令和元年10月6日執行　町議会議員一般選挙　　（単位：人）

	男	女	合計
有権者数(人)	5,451	5,956	11,407
投票者数(人)	3,513	3,850	7,363
投 票 率(%)	64.45	64.64	64.55

※　各選挙の投票者数には、期日前投票者、不在者投票者を含んでいます。

※　参議院議員通常選挙の有権者数及び投票者数には、在外選挙人名簿登録者を含んでいます。

議会関係

板野町議会議員 （令和２年３月３１日現在）

天羽 生美　石田 実　犬伏 博昭　大西 正一　奥尾 周二

東條 昭二　西川 有　根ヶ山 昇　広田 勝己

松浦 昶　水口 昭彦　三原 大輔　吉岡 輝昭　（50音順）

◆議員の定数・任期◆

議員の定数は町の条例で定められており、平成27年３月議会での条例改正により板野町の議員定数は１３人となりました。現在の議員数も１３名となっています。

議員は４年ごとに行われる選挙により選ばれます。

現在の議員の任期は、令和元年11月１日～令和５年10月31日です。

◆議会の仕事◆

【議決】

町政を行うための重要な事項は、町議会の議決により決定します。主なものは以下のとおりです。

〇条例の制定・改正・廃止、予算の決定、決算の認定、基準を超える契約の締結・財産の取得及び処分など

〇副町長、教育委員、監査委員などの選任にあたっての同意など

【請願・陳情の審査】

住民からの請願・陳情を審査し、本会議で採択された請願のうち、必要があるものについては、その結果を町長などの執行機関へ送ります。

【意見書の提出・決議】

公共の利益に関係のある問題について、町議会の意思として国や県などに「意見書」を提出したり、「要望決議」を行うことにより、積極的な解決を求めます。

【町政のチェック】

町政の方針や行政が公平、公正かつ効率的に運営されているのかを、本会議及び各委員会において調査し、問題点の指摘を行います。

議会運営事業 （議会事務局） 6，４９６万円

【 財 源 】 町：6,496万円

町議会では、年４回の定例会、必要に応じて開催される臨時会、分野別に専門的な審議をする委員会などを行います。

議員の報酬・手当のほか、会議録の作成、住みやすいまちづくりに必要な知識習得のための視察研修や調査、その他議会のスムーズな運営のための経費を支出しました。

定例会・臨時会の開催状況

	条例で定めた数	開催日数	会期延日数	本会議延日数	傍聴者延人数
定 例 会	4回	24日	41日	12日	29人
臨 時 会	ー	3日	3日	3日	2人

会期日数・本会議日数

	会期延日数	本会議延日数
第1回定例会（3月）	10日	3日
第2回定例会（6月）	10日	3日
第3回定例会（9月）	10日	3日
第4回定例会（12月）	11日	3日
合 計	41日	12日

一般質問の状況

	日数（延べ）	質問者数（延べ）
一般質問	4日	10人

委員会・全員協議会の開催状況

	条例で定めた委員会	開催した委員会	会期中の開催日数（延べ）	閉会中の開催日数（延べ）	町外行政視察回数及び日数	
					回 数	日 数
常任委員会	3	13回	12日	1日	0回	0日
特別委員会	1	0回	0日	0日	0回	0日
議会運営委員会	1	9回	1日	8日	0回	0日
全員協議会	ー	7回	6日	1日	2回	3日

監査委員事業 （議会事務局）

監査委員は、町の仕事が正しく行われているか、町のお金が正しく使われているかについて監査を行います。

町の監査委員は、知識や経験のある方から選ばれた委員と、町議会議員から選ばれた委員が１名ずついます。

毎月の監査や決算の審査などを行い、その結果が町長に報告されました。

板野町ホームページ「財政情報」公開中！

http://www.town.itano.tokushima.jp/soshiki/soumuka/zaise%20yosan/

板野町では、ホームページにて財政情報を積極的に公表しています。

★各種指標等★

●財務書類
総務省から示された「統一的な基準」による地方公会計の財務書類４表を作成しています。

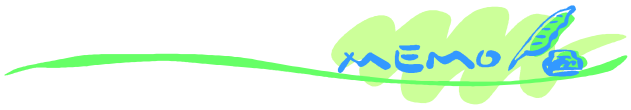
●当初予算
板野町全会計の当初予算について、概要を掲載しています。

●財政事情
板野町の予算の補正状況及び執行状況などについて、年２回（上半期と下半期）集計して公表しています。

●決算
板野町全会計の決算状況について、概要を掲載しています。

●財政状況
決算数値に基づく財政状況資料集、財政健全化判断比率・資金不足比率について掲載しています。

●わかりやすい財政状況
板野町あせび温泉やすらぎの郷マスコットキャラクター「弁慶くん」と「あせびちゃん」が、阿波弁丸出し(?)で板野町の財政状況について、わかりやすく解説しています。


MEMO

活き活きと魅力に満ちた田園都市

“わかりやすい　いたののけっさん

〈令和元年度決算　町民への決算説明書〉”

（決算概要版）

発行年月　　令和 2年 10 月
編集・発行　　板　野　町
【問い合わせ先】
板野町　総務課　財政係
〒779-0192　徳島県板野郡板野町吹田字町南22-2
TEL　088-672-5980（直通）
FAX　088-672-5553
E-mail　soumu@town-itano.i-tokushima.jp
http://www.town.itano.tokushima.jp/